

研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・留学生(RJ)
試験科目 /Exam Subject	社会学
実施年月日（試験日） /Exam Date	2025年9月6日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>「出題意図」</p> <p>博士課程前期課程については大問2問とした。1問目は、社会学や関連諸分野についての基礎知識があるかを確認するために、4研究領域（現代社会、メディア社会、人間福祉、スポーツ社会）に関わる計20ほどの用語から3つを選択し、その説明を解答する形式とした。2問目は、社会的な事象に対して多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめることができるかを確認するために、比較的汎用性の高いトピックについて1つ選択して論述する形式とした。</p> <p>「問1 解答例（採点時の観点）」</p> <p>問1は社会学および関連諸分野についての計20ほどの用語から3つを選択し、その内容を説明するものである。語句説明の仕方は複数ありうるとともに、用語すべてについて解答例を示すと膨大な分量となるため、ここでは採点時の観点のみを解説する。</p> <p>社会学研究科HP上では学科試験についての参考文献を公開しているが、問1で出題される語句については主にこの参考文献から選択している。文献内には語句の説明が行われているが、それに沿うようなかたちで解答がなされているかどうかということが採点の基準となる。</p> <p>なお、学科試験についての参考文献については以下のURLを参照のこと。 https://www.ritsumei.ac.jp/gss/admission/about/</p> <p>「問2 解答例（採点時の観点）」</p> <p>問2は4つの問題から1つを選択し、10行以上で、自身の考えを論述するものである。論述の仕方は複数ありうるため、ここでは解答例を提示せず、採点時の観点のみを解説する。また、4つの問題すべてについて採点時の観点を示すと膨大な分量となるため、ここでは、すべての問題に共通する採点の基準を示す。</p> <p>・問題を解明するために必要となる社会学（あるいは関連諸分野）の概念（あるいは観点）が提示されているかどうかということが採点の基準となる。</p>	

研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・留学生・社会人
試験科目 /Exam Subject	社会学
実施年月日（試験日） /Exam Date	2025年9月6日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>「出題意図」</p> <p>博士課程後期課程については大問2問とした。1問目は、社会学や関連諸分野についての基礎知識があるかを確認するために、4研究領域（現代社会、メディア社会、人間福祉、スポーツ社会）に関わる計20ほどの用語から4つを選択し、その説明を解答する形式とした。2問目は、社会的な事象に対して多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめることができるかを確認するために、比較的汎用性の高いトピックについて2つ選択して論述する形式とした。</p> <p>「問1 解答例（採点時の観点）」</p> <p>問1は社会学および関連諸分野についての計20ほどの用語から4つを選択し、その内容を説明するものである。語句説明の仕方は複数ありうるとともに、用語すべてについて解答例を示すと膨大な分量となるため、ここでは採点時の観点のみを解説する。</p> <p>社会学研究科HP上では学科試験についての参考文献を公開しているが、問1で出題される語句については主にこの参考文献から選択している。文献内には語句の説明が行われているが、それに沿うようなかたちで解答がなされているかどうかということが採点の基準となる。</p> <p>なお、学科試験についての参考文献については以下のURLを参照のこと。 https://www.ritsumei.ac.jp/gss/admission/about/</p> <p>「問2 解答例（採点時の観点）」</p> <p>問2は4つの問題から2つを選択し、10行以上で、自身の考えを論述するものである。論述の仕方は複数ありうるため、ここでは解答例を提示せず、採点時の観点のみを解説する。また、4つの問題すべてについて採点時の観点を示すと膨大な分量となるため、ここでは、すべての問題に共通する採点の基準を示す。</p> <p>・問題を解明するために必要となる社会学（あるいは関連諸分野）の概念（あるいは観点）が提示されているかどうかということが採点の基準となる。</p>	

研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	一般
試験科目 /Exam Subject	英語
実施年月日（試験日） /Exam Date	2025年9月6日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>「出題意図」</p> <p>英語で文献を読む能力を持っているかを確認するために、英語で書かれた社会学あるいは近接領域のテキストなどから出題した。大問2問とし、1問目は正確に英訳ができるかを確認するために一定程度の英文を和訳させるものとした。2問目は全体の内容が理解できているかを把握できるような問いとした。</p> <p>「問1 解答例」</p> <p>問1 下線部①、②を和訳しなさい。</p> <p>①理想的な労働者に明確なジェンダー（性別）はない。しかしながら、家庭内のケアの責任の大部分を女性が負っていることを考慮すると、理想的な労働者に期待される時間的な献身や特徴は、女性のジェンダー役割（性役割）にそぐわないのである。</p> <p>②その結果、女性たちは、自分のスキルを活かせる仕事から追い出されたり、より低賃金で地位の低い職に応募したりすることを選ぶことが多いが、それは女性たちが家庭の都合と増加した時間的的要求（労働の拘束時間）を満たすことができないと予想しているからである。</p> <p>「問2 解答例」</p> <p>問2 下線部①「理想的労働者規範（ideal worker norm）」が持つ特徴はどのようなものか。また、その特徴はどのように職場のジェンダー不平等の再生産に関わっているか。本文の内容に即して説明しなさい。</p> <p>「理想的労働者規範」には、常に仕事に専念できること、長時間労働を厭わないことに加え、独立心、リーダーシップ、闘争心、合理性といった男性的な特徴が含まれる。職場においても女性たちは、「協調性」や「親しみやすさ」といった「女性らしさ」を求められ、さらに家庭責任を負う傾向にもあるため、これらの「理想的労働者規範」に適合しにくい。さらに、職業上の成功は男性性の象徴であるという職場文化においては、女性が男性と同等の仕事をするとは「女性らしさ」が欠如していると低く評価されることにつながってしまう。また、指導的地位に立つ女性は男性性をおびやかすと存在と捉えられ、ハラメントの対象にもなりうる。これらの要因が複合的に作用し、女性のキャリアの継続や昇進機会を制限し、職場におけるジェンダー不平等を再生産している。</p>	

研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程前期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・留学生(RJ)
試験科目 /Exam Subject	社会学
実施年月日（試験日） /Exam Date	2026年1月31日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>「出題意図」</p> <p>博士課程前期課程については大問2問とした。1問目は、社会学や関連諸分野についての基礎知識があるかを確認するために、4研究領域（現代社会、メディア社会、人間福祉、スポーツ社会）に関わる計20ほどの用語から3つを選択し、その説明を解答する形式とした。2問目は、社会的な事象に対して多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめることができるかを確認するために、比較的汎用性の高いトピックについて1つ選択して論述する形式とした。</p> <p>「問1 解答例（採点時の観点）」</p> <p>問1は社会学および関連諸分野についての計20ほどの用語から3つを選択し、その内容を説明するものである。語句説明の仕方は複数ありうるとともに、用語すべてについて解答例を示すと膨大な分量となるため、ここでは採点時の観点のみを解説する。</p> <p>社会学研究科HP上では学科試験についての参考文献を公開しているが、問1で出題される語句については主にこの参考文献から選択している。文献内には語句の説明が行われているが、それに沿うようなかたちで解答がなされているかどうかということが採点の基準となる。</p> <p>なお、学科試験についての参考文献については以下のURLを参照のこと。 https://www.ritsumei.ac.jp/gss/admission/about/</p> <p>「問2 解答例（採点時の観点）」</p> <p>問2は4つの問題から1つを選択し、10行以上で、自身の考えを論述するものである。論述の仕方は複数ありうるため、ここでは解答例を提示せず、採点時の観点のみを解説する。また、4つの問題すべてについて採点時の観点を示すと膨大な分量となるため、ここでは、すべての問題に共通する採点の基準を示す。</p> <p>・問題を解明するために必要となる社会学（あるいは関連諸分野）の概念（あるいは観点）が提示されているかどうかということが採点の基準となる。</p>	

研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・留学生・社会人
試験科目 /Exam Subject	社会学
実施年月日（試験日） /Exam Date	2026年1月31日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question （試験問題自体を公開しない場合はその理由） (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>「出題意図」</p> <p>博士課程前期課程については大問2問とした。1問目は、社会学や関連諸分野についての基礎知識があるかを確認するために、4研究領域（現代社会、メディア社会、人間福祉、スポーツ社会）に関わる計20ほどの用語から4つを選択し、その説明を解答する形式とした。2問目は、社会的な事象に対して多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめることができるかを確認するために、比較的汎用性の高いトピックについて2つ選択して論述する形式とした。</p> <p>「問1 解答例（採点時の観点）」</p> <p>問1は社会学および関連諸分野についての計20ほどの用語から4つを選択し、その内容を説明するものである。語句説明の仕方は複数ありうるとともに、用語すべてについて解答例を示すと膨大な分量となるため、ここでは採点時の観点のみを解説する。</p> <p>社会学研究科HP上では学科試験についての参考文献を公開しているが、問1で出題される語句については主にこの参考文献から選択している。文献内には語句の説明が行われているが、それに沿うようなかたちで解答がなされているかどうかということが採点の基準となる。</p> <p>なお、学科試験についての参考文献については以下のURLを参照のこと。 https://www.ritsumei.ac.jp/gss/admission/about/</p> <p>「問2 解答例（採点時の観点）」</p> <p>問2は4つの問題から2つを選択し、10行以上で、自身の考えを論述するものである。論述の仕方は複数ありうるため、ここでは解答例を提示せず、採点時の観点のみを解説する。また、4つの問題すべてについて採点時の観点を示すと膨大な分量となるため、ここでは、すべての問題に共通する採点の基準を示す。</p> <p>・問題を解明するために必要となる社会学（あるいは関連諸分野）の概念（あるいは観点）が提示されているかどうかということが採点の基準となる。</p>	

研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	一般・留学生
試験科目 /Exam Subject	英語
実施年月日（試験日） /Exam Date	2026年1月31日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>「出題意図」 英語で文献を読む能力を持っているかを確認するために、英語で書かれた社会学あるいは近接領域のテキストなどから出題した。大問2問とし、1問目は正確に英訳ができるかを確認するために一定程度の英文を和訳させるものとした。2問目は全体の内容が理解できているかを把握できるような問いとした。</p> <p>「問1 解答例」 問1 下線部①、②を和訳しなさい。</p> <p>①ニュースを収集し伝達する配達人(メッセンジャー)を選ぶ際に求める素質さえ同じだった。走るのが早く、正確な情報を集め、人を引きつける話し方で再び語るかどうかだ。</p> <p>②人が(私たちが)友人や知人に会って最初にすることの一つが、情報の共有だ。「○○について聞いた?」。自分が聞いたことを彼らも聞いたのか、そして同じように聞いたのか知りたいのだ。</p> <p>「問2 解答例」 問2 点線部(a)が具体的に意味していることを、本文に即して説明しなさい。</p> <p>ここで言う継続性と一貫性とは、時代、場所、文化に関わらず、人間はニュースを同じように定義し、また同じような入手方法、内容、価値をニュースに求めてきたことを指している。</p>	

研究科 /Graduate School	社会学研究科
課程 /Program	博士課程後期課程
専攻・コース等 /Major, Course	応用社会学専攻
入試方式 /Admission Method	学内進学
試験科目 /Exam Subject	英語
実施年月日（試験日） /Exam Date	2026年1月31日
解答又は解答例及び出題意図 Answer or example of answer Intent of the question (試験問題自体を公開しない場合はその理由) (Reasons for not publishing exam questions)	
<p>「出題意図」</p> <p>英語で文献を読む能力を持っているかを確認するために、英語で書かれた社会学あるいは近接領域のテキストなどから出題した。大問1問とし、正確に英訳ができるかを確認するために一定程度の英文を和訳させるものとした。</p> <p>「問1 解答例」</p> <p>問1 下線部①、②、③を和訳しなさい。</p> <p>①ニュースを収集し伝達する配達人(メッセンジャー)を選ぶ際に求める素質さえ同じだった。走るのが早く、正確な情報を集め、人を引きつける話し方で再び語るかどうかだ。</p> <p>②人が(私たちが)友人や知人に会って最初にすることの一つが、情報の共有だ。「○○について聞いた?」。自分が聞いたことを彼らも聞いたのか、そして同じように聞いたのかを知りたいのだ。</p> <p>③私たちがジャーナリズムと呼んできたものは、今どうなっているのか、これからどうなるのかという情報を提供するために社会が生み出すシステムにすぎない。</p>	